

第8回 伏虎中学校区学校適正規模化推進協議会 会議録概要

1. 日時 平成24年3月21日（木）午後7時～午後7時40分

2. 場所 和歌山市役所 14階 大会議室

3. 出席者 【委員28名】小島渉会長、津田成章副会長、西村征男副会長、栗生誠悟委員、徳永宏委員、廣田敏孝委員、土田太郎委員、横山和哉委員、福田光男委員、山本明広委員、下店文男委員、木村サナエ委員、土屋智昭委員、谷口明史委員、波多野正蔵委員、古梅由紀子委員、山岡真美委員、山本浩司委員、原一起委員、阿形博司委員、金谷善進委員、松井潔委員、富永久委員、坂口和夫委員、山本昌之委員、勝本泰弘委員、池永多世委員、寺下清委員

【事務局3名】中村浩二教育総務課副課長、川本智之教育総務課専門教育監補、川端慎一教育総務課総務政策班長

4. 会議次第

(1) 開会

(2) 資料確認

(3) 議事

ア. 意見書について

イ. 今後の予定について

ウ. その他

(4) 閉会

5. 会議内容

(1) 開会挨拶

小島会長

・皆さんこんばんは。大変お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。また、幹事会のメンバーには一昨日に引き続いてご参加いただきましてありがとうございます。

・本日第8回の協議会ということで、意見書のとりまとめをおこなっていききたいと思います。前回の協議会で叩き台ということで案を出させていただきまして、それに対していただいた意見をもとに、一昨日の幹事会で本日の案をまとめさせていただいております。

・本日、高校入試の合格発表があり、先日小学校の卒業式がありました。市内53小学校から多くの小学生が巣立ち、この4月から中学生となるわけです。今までこの協議会の議論の中でも出て参りましたが、中一ギャップ等にとらわれることなく、元気にいってほしいという思いがあります。

・また、選抜高校野球が本日開幕しまして、夕方のニュースで見たのですが、選手宣誓する選手は本当に立派な態度で、内容も高校生が考えられるのかというほど素晴らしい内容でした。我々も、そういうような子どもたちが巣立っていけるような素晴らしい学校を目指して取り組んできたわけです。本日は教育委員会に提出する意見書についてのとりまとめをしたいと考えていますので、皆さんよろしく願います。ありがとうございます。

(2) 資料確認

第8回協議会次第(A4)、第8回配付資料(A4冊子)、意見書(案)、第7回推進協議会会議録と会議録概要 以上4点。

第6回の会議録について何かご意見等ございませんか。

[承認]

(3) 議事

ア. 意見書について

事務局から説明会等でいただいた意見等確認のための説明。

・各説明会での主な意見として、5つの項目にまとめた。「通学の安全性と防災の安全性」「地域等への説明」「小中一貫教育」「跡地利用」「その他」です。

・通学の安全性と防災の安全性について、通学距離が長くなる場合があるため安全面に配慮いただきたい。市内中心部で交通量が多く空き店舗や人通りも多く、防犯面についての安全性を図って欲しい。東日本大震災もあり防災面について、高台にある雄湊小学校から城北小学校いくことについて安全性についての意見。

・地域への説明について、新設校設置について城北小学校に行くことだけが決まっている。もう少し具体的な説明をいただきたい。

・小中一貫教育について、3小学校統合という話が小中一貫校を作るという話にすり替わっている。小中一貫教育について、もっと具体的な話がないと分からない。小学校は地域にとっては共有物であり、小学校がなくなることに配慮いただきたい。

・跡地利用について、雄湊小学校、本町小学校も避難場所となっている。災害時どこに逃げたら良いのか示して欲しい。

・その他の意見としまして、全ての地域の住民が賛成しているわけでない。もう少し説明をしっかりとって欲しい。このことを明記して欲しいという意見があった。

これらの意見を受け第7回推進協議会において、各委員の皆様から意見。

委員会において、伏虎中学校区学校適正規模化推進協議会についての位置づけについて確認する。伏虎中学校区学校適正規模化推進協議会はあくまでも協議をする場であり、設置及び教育内容についての決定権を有していない。今後当推進協議会から意見書を提出し、それを受けて教育委員会が主体となって進めていくべきである。すなわち、協議会において意見を集約し、それをもとに教育委員会が政策決定をしていくことになる。

・各委員の意見について、説明会では、具体的な意見が出ず聞き役に回ってしまった。大きな地震が来た場合、津波対策として今後も和歌山市の防災計画に則ったものとして取り組んで欲しい。新しく小中一貫校を作るには匂がある。今、こういう学校を作ろうという機運があるときに、積極的に明日の子どもたちのために良い学校を作るべきである。

意見書についての協議

[意見書内容を読む]

各委員からの意見

- ・全体的に良くまとまっている。
- ・総論的になっている。
- ・今までの議論が上手く網羅されている。
- ・4. 小中一貫校準備組織を設置することの部分で、その組織には新設小中一貫校の管理職となる人物が含まれていることと書かれているが、早期に管理職が決まるということか。
- ・当初の予定の流れのとおりで変更はなく、1. 施設一体型小中一貫校の設置を平成29年を目途にということによろしいか。
- ・5. ③教職員研修について、広く人材を募集しと書かれているが、どのくらいの範囲を予定しているのか。
- ・5. ⑤城北公園駐車場は是非とも閉鎖していただきたい。

[拍手で承認]

伏虎中学校区学校適正規模化に関する意見書について、慎重審議の結果、原案どおり承認した。

イ. 今後の予定について

- ・3月23日（金）午後4時30分 市役所11階 第1会議室
小島会長・西村副会長・木村委員から大江教育長へ提出
- ・本協議会は意見書の提出をもって休会とする。今後、必要に応じて教育委員会が本協議会を招集する。

ウ. その他

原教育局長

教育委員会を代表してお礼と感謝の言葉を述べさせていただきます。この1年間本協議会設立から本日第8回協議会まで、委員の皆様には大変貴重なご意見、また今後の参考となるようなご意見を多数いただきました。

地域の方々にはいろんな考え方の方が居られます。ただその一つ一つの考え方を無視するのではなく聞いた上で、前へ進んでいかなければ何も解決しません。今がこのプロジェクトの絶好の機会であるということから前へ進めます。

今後は、この意見書をもとに、新年度から具体的な事業へと取り組んでいきたいと思えます。今後とも皆様方の多大な協力を願わなければならないと思えます。今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。

小島会長

本当に教育委員会の皆様には、この1年間大変お世話になりありがとうございました。新年度からスピードアップして取り組んでいただき、和歌山市を代表するようなモデルとなり、他の地区もこういう取組をしたいと思ってもらえるような、教育先進都市となれば良いと思っています。この1年間、会長という重責を負わせていただきました。全く至らない会長でありましたが、皆様方の暖かい応援のお陰で、何とか職責を全うすることができました。心より感謝申し上げます。本当に1年間ありがとうございました。